



2026 共同 × 協働

ともに学び高めあえる
教員を目指して

共同教育学部

国立大学法人
宇都宮大学
UTSUNOMIYA UNIVERSITY

国立大学法人 宇都宮大学共同教育学部
〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350

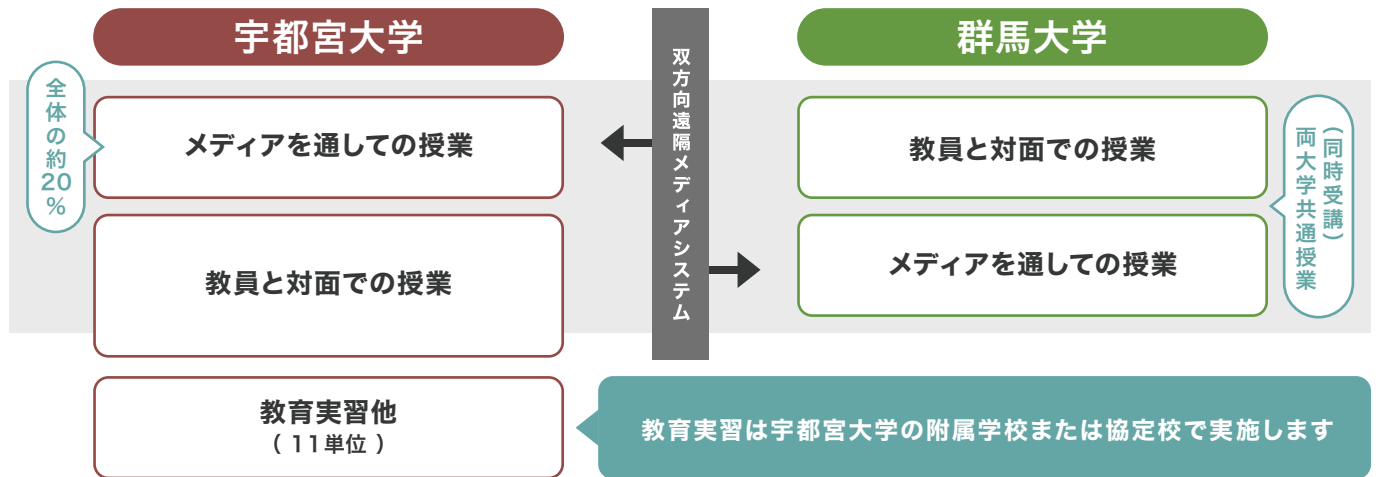
TEL **028-649-5242**
<https://web.edu.utsunomiya-u.ac.jp>

共同教育学部
ウェブサイト



共同教育学部ってこんなところ

本学部は学校教育教員養成課程であり、4系13分野で構成されています。一部の授業は双方向遠隔メディアシステムを使って群馬大学と共同で行います。小・中・高等学校及び特別支援学校、幼稚園の教員免許を取得するためのプログラムを備えており、小学校一種免許状、及び所属分野の教科を主とした中学校・高等学校一種免許状を取得可能です。共同教育学部ではこのプログラムで「宇大スタンダード」に定める汎用的能力と専門分野に関する知識・技能を獲得した学生に「学士(教育学)」の学位を授与します。

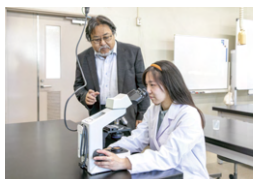


「専門分野」「分野混合クラス」での学び

専門分野

13分野のいずれかに所属

各分野の教員によるきめ細やかな指導



専門分野について深い知識が得られます。



卒業研究の際には指導教員から個別指導を受けられます。

専門的な指導と豊富な実習体験



専門科目の授業や附属学校園での教育実習では同じ分野の学生と切磋琢磨しながら学びます。

分野混合クラス

12クラスのいずれかに所属

担任教員が学生生活をサポート



クラスごとに付く担任教員により、4年間を通じた指導を受けられます。

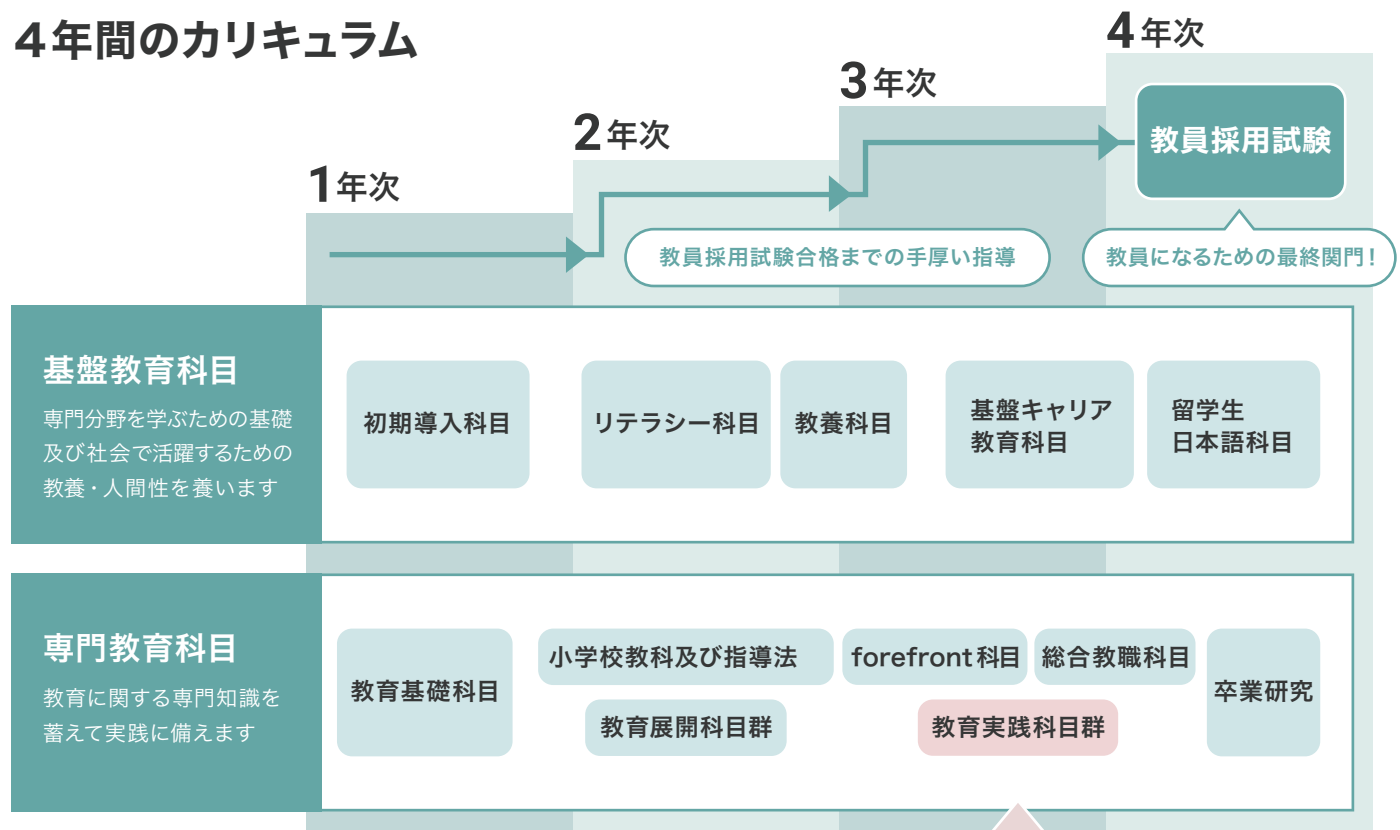
他の分野の学生たちと学ぶ



様々な分野の学生と一緒に授業を受け、グループ活動を行うなど、より多くの人との交流を通して、社会性を育みます。

※群馬大学の学生との合同の活動もあります(変更の可能性あり)。

教員になるまで 4年間のカリキュラム



教育実践科目群

教職ボランティア入門

小学校で授業や生活指導（給食・清掃）のお手伝いを
して、「学校で働く」体験を
します。

教育実習Ⅰ・Ⅱ

附属学校園で3週間の実習
を行います。実際に生徒の
前で授業をします。

教育実習Ⅲ

公立小学校・中学校で実習
を行い、教育現場の理解を
深めます。

教職実践科目

これまでの学びの集大成と
して、模擬授業を行います。

+ 特別支援学校教育実習(特別支援学校免許取得希望者のみ)

就職支援室

就職支援室では、常時、進路・教員採用試験に
関する相談を受け付けています。
県内の学校の校長経験者が親身にアドバイスします。

就職支援室でできること

ベテラン教員による以下の指導を受けることができます。



教員採用試験願書チェック



論作文の指導



個人面接・集団討論・模擬授業の練習



共同教育学部学校教育教員養成課程のアドミッションポリシーには、Ⅰプログラムの概要、Ⅱ教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性、Ⅲ求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価を記載しています。

大学ホームページよりご覧いただけます。 <https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/policy.php>



教育分野

教育のあり方を原理的・総合的に学習します。教育の理念と歴史、学校教育の理念と制度、学校の管理運営、教育の目的・内容・方法の原理、道徳教育、シティズンシップ教育、幼児教育などが主な学習分野です。加えて、中学校教科について、学生の希望に応じてどれか一つの教科の免許を取得するための学習をします。卒業後は、教育的知見を生かした学校教員になることを目指しています。

教育心理分野

教育に関する諸課題を心理学の知見から追究します。発達や学習、社会、臨床が主たる学習領域です。また、実証的研究を行うためそれに対応する統計学や研究法などの研究スキルも学びます。意欲ある人には臨床系の実習や演習もあります。加えて、中学校教科について、どれか一つの教科の免許を取得するための学習をします。卒業後は、教育心理学的知見を生かした学校教員になることを目指しています。

特別支援教育分野

障害のある幼児・児童・生徒の発達と心理および教育を学び研究することで、個に応じた教育の方法を探求します。卒業要件を満たすことで、小または中学校、特別支援学校（知的・肢体不自由・病弱・視覚障害の4領域）の教員免許状が取得できます。さらに必要な科目を履修することで特別支援学校5領域、幼稚園・高等学校の教員免許状も取得できます。卒業後は、特別支援教育的知見を生かした学校教員になることを目指しています。



学生インタビュー

教育人間科学系 教育心理分野 4年生

鈴木 桃佳さん



教育分野・
特別支援教育分野の
学生インタビューはこちら
<https://web.edu.utsunomiya-u.ac.jp/major-interview/>



Q この学部を選んだ理由

憧れていた教員になりたい、心理学についても学びたいという思いで教育心理分野のあるこの学部を選びました。附属学校での教育実習も充実していたり、小・中・高・特別支援学校の免許も取得できるという幅のあるカリキュラム構成となっていたりしたことも決め手となりました。

Q この学部に入ってよかったこと

教育実習以外に、学校現場に慣れることを目的として1年間公立の学校に赴く活動があることで子どもたちと接する機会が多く確保されている点が良かったです。また、分野以外にもクラスがあるためにその仲間たちと交流して仲を深めながら一緒に学ぶことができる点も充実した大学生活に繋がっていてよかったと思います。

Q 大学に入って成長したこと

様々な内容や多角的な視点があることを学び、個性ある人々との交流を経ながら自分自身を見つめたことで、以前より深く内省したり他者に感謝の意をもって過ごしたりする等、精神的に成長して充実した日々を過ごすことができました。特に心理学を学んだことで冷静で客観的な考えをもったことが大きく成長した点だと思っています。

Q 高校生へのメッセージ

高校まででは学ぶことができなかった自分の興味ある分野を思う存分学ぶことができるのが大学の良さだと思います。自由な時間も増え、交流の幅も広がったり自分自身を見つめたりできる良い機会にもなります。大変ではありますが受験を乗り越えて、ぜひ私たちと一緒に充実した大学生活を送りましょう！お待ちしております。

ある日のキャンパスライフ

- 5:30 起床・朝食・身支度
- 6:30 通学
- 8:40 授業
- 12:00 昼食
- 12:40 授業
- 14:30 友人と過ごす・課題等
- 16:00 授業
- 20:00 夕食
- 21:00 課題
- 22:00 自由時間・課題等
- 24:00 就寝





国語分野

国語分野では、日本語学・日本文学・漢文学・国語科教育の専門科目を幅広く履修し、小学校・中学校・高等学校の国語科の教員に必要な、知識・技能・態度を身につけることができます。4年次には、専門分野に応じたゼミに所属し、卒業論文の制作を行います。また、文学散歩や卒論発表会など、学年とゼミの枠を超えて、教員と学生が交流する国語分野全体の行事も充実しています。総合的国語力の育成をめざすのが国語分野です。

社会分野

社会分野は教育方法や関連専門学問の研究方法を身につけた学校教員を育てることを目的としています。社会科で、児童・生徒は、哲学・歴史学・地理学・社会学・法学などの方法論に準じた、ねばりづよい、簡単に割り切らない学習をするようになります。その際、教師に必要なのが専門学問の研究の経験です。社会分野では、学習指導に必要な経験を社会科教育や専門学問の講義・演習・実習を通して、学生自らが学ぶ指導を行っています。

英語分野

英語分野では、英語学・英語文学・英語教育学を学び、小・中・高で英語を教えるのに必要な専門性を身につけることができます。英語分野の授業では、学生同士が協力し合い、切磋琢磨しながらも和気あいあいと学習に励んでいます。3年次から4年次にかけて、自身の希望する指導教員のもとで研究テーマを決め、卒業論文の作成に励みます。卒業生は主として小・中・高の教員として活躍しています。



学生インタビュー
人文社会系 英語分野 4年生

米塚 七海さん



国語分野・社会分野の
学生インタビューはこちら
<https://web.edu.utsunomiya-u.ac.jp/major-interview/>



Q この学部を選んだ理由

生徒一人一人に合ったコミュニケーションによる生徒理解を深め、生徒を支えられる教師になりたいと高校時代に考えていました。宇都宮大学は、分野混合のクラス編成で少人数指導であるということを知り、自分のモノの見方や考え方を広げることができると考え、この学部を選びました。

Q この学部に入って良かったこと

分野混合のクラス編成という宇都宮大学ならではの特色を受けて、自分の考え方が高校時代からとは180度変わったと言っても過言ではないなと考えています。またこの学部は群馬大学との共同の教育学部ということもあり、宇都宮大学だけでも考えを広げられるのに、更に広げることができるので入ってよかったと感じています。

Q 大学に入って成長したこと

広い目で様々なことを見ることができるようになったと感じています。他の大学の教育学部でも、たくさんの異なる人と交流できるという点では同じですが、本校は異種間交流に長けているので、その結果、更に広い視点で物事を考えることができるようになりました。

Q 高校生へメッセージ

もし今の皆さんがどの教育学部を目指そうか悩んでいるのであれば、宇都宮大学共同教育学部を強くおすすめします。大学教授となると、一見関わりにくそうなイメージを持っていませんか？私も入学当初感じていましたが、本校本学部はクラス編成があるということもあり、他の大学・学部よりも教授と学生間の交流が多く、関わりをもちやすいと実感しています。ぜひ宇都宮大学への入学も考えてみてください。

ある日のキャンパスライフ

- 6:30 起床・朝食・身支度
- 7:30 通学（自家用車）
- 8:40 授業
- 12:00 昼食・空きコマ（課題）
- 14:20 授業
- 18:00 アルバイト
- 21:30 帰宅・夕食・自由時間
- 24:00 就寝





数学分野

数学分野では、算数指導に強い小学校教員や中学校・高校の数学教員をめざします。3年次までは教員として必要な算数・数学の教科の特性に基づいた指導内容・指導方法に関する知識や、学問としての数学の専門知識を学び、4年次には自分の選んだ指導教員のもとで、卒業研究の作成を通して数学や数学教育学についての専門性を高めていきます。

理科分野

理科分野では、小学校教員や中学校・高校の理科教員をめざします。3年次までは教員として必要な理科の専門知識、教育者として必要な教科特性に基づいた専門知識を学び、4年次には自分の選んだ指導教員のもとで、卒業研究を通して物理・化学・生物・地学や理科教育学についての専門性を高めていきます。

技術分野

技術分野では、中学校教員だけでなく小学校教員や工業高等学校教員をめざします。3年次までは、技術教育を構成する情報工学、加工学、電気工学、機械工学、栽培学等の専門知識、教育者として必要な教科特性に基づいた専門知識を学び、4年次には自分の選んだ指導教員のもとで、卒業研究を通して専門性を高めていきます。



学生インタビュー

自然科学系 数学分野 4年生

須永 来夢さん



Q この学部を選んだ理由

将来、自身の出身地である栃木県で中学校の教員をするという夢を実現するためです。中学生の頃に憧れた数学教員が宇都宮大学出身だったことや、幼稚園から高校の教員免許など多種多様な教員に係る免許を取得できることから、宇都宮大学の共同教育学部で学びたいと強く思っていました。

Q この学部に入ってよかったこと

共同教育学部では、様々な人との交流があります。分野の学生との交流はもちろん、他分野も混じえたクラスでの交流や群馬大学の学生との交流があり、色々な考え方に会えます。また、少人数の分野の中で教員という同じ志を持っている学生と切磋琢磨しあえる環境も共同教育学部の学生が創り出した魅力だと思います。

Q 大学に入って成長したこと

大学に入って1番成長したことは順序だてて計画することです。大学では色々な活動ができる分、自分のやりたいことが多すぎると大変になってしまいます。色々な活動をしていく中で効率的な順序を考えて計画を立てられるようになりました。それにより自分のやりたいを明確に、そして実現することができるようになりました。

Q 高校生へのメッセージ

宇都宮大学は多くの価値観に出会える場だと思います。学部内外問わず色々な人と関わっていく中で、たくさんの価値観から刺激を受けて視野を広げられます。これは教員になるために力になってくれるはずです。大学生は勉学を大切にしながらも自分のやりたいことを実現することもできます。宇都宮大学で待っています。

理科分野・技術分野の
学生インタビューはこちら
<https://web.edu.utsunomiya-u.ac.jp/major-interview/>



ある日のキャンパスライフ

- 7:00 起床・朝食・身支度
- 8:15 通学
- 8:40 授業
- 12:00 昼食
- 13:00 課題など
- 16:00 授業
- 18:00 サークル
- 20:30 夕食
- 21:00 課題
- 22:00 自由時間
- 24:00 就寝





音楽分野

本分野の理念は、教育者としての幅広い知識・教養・能力を身につけること、音楽の専門についての研鑽を積むこと、の2点に集約されます。専門科目は音楽教育、作曲、音楽学、声楽、器楽などの領域からなり、主に2年次までは基礎的な学びを、3～4年次には発展的な研究を進めます。そして、卒業研究を成して修了します。

美術分野

美術全般の基礎的素養と美術教育の専門能力の育成を目指し、実技と理論の体系的教育を行います。2年次までに美術各領域の導入を、3年次からはそれらを発展的に学び、学生の希望により絵画・デザイン・工芸・美術理論・美術教育から選択して卒業研究に向け専門性の向上に着手します。また、野外写生合宿、古美術研究旅行、作品展、ワークショップなどの諸活動、学生企画の諸行事等を通して充実した4年間で過ごすことができます。

保健体育分野

近年の保健体育・スポーツ分野における研究の発展はめざましいものがあり、教育の場ではそうした知見を活かした指導が求められています。本分野は、小学校教員としての資質・能力を獲得するとともに、中学校および高等学校の保健体育科教員に必要な指導力を習得するため、教科指導の基盤となる学問・技能をさらに深く学修し研究します。

家政分野

家政分野では、家庭経営、衣生活、食生活、住生活、保育、消費・環境、家庭科教育等の講義、実験、実習、セミナー、卒論の専門教育により、小学校、中学校、高等学校の家庭科の教員を養成することを目的としています。生活者の視点から生活を総合的にとらえ、持続可能な社会の構築、生活の質的向上、人類の福祉に貢献する担い手づくりに資する教員を目指したい人を歓迎します。

学生インタビュー

芸術・生活・健康系 保健体育分野 3年生

谷畑 妃音さん



音楽分野・
美術分野・家政分野の
学生インタビューはこちら
<https://web.edu.utsunomiya-u.ac.jp/major-interview/>



Q この学部を選んだ理由

部活動の顧問であった恩師の影響で、中学生の頃から地元の栃木県で保健体育の教員になることに憧れていました。部活動引退後も小中学生を中心にバドミントンの指導をする中で、より専門的な知識を持って接していきたいと考え、教員になるための充実したカリキュラムが備わっている宇都宮大学に魅力を感じ、選択しました。

Q この学部に入ってよかったこと

全国初の共同教育学部ということで、群馬大学の学生と交流する機会が設けられていたり、分野別混合クラスで多くの分野の学生と接することも多くあるため、様々な授業でより多くの意見を聴き、授業への理解を深めることが出来ることです。縦の繋がりも大切にしているため、先輩方から教育現場の貴重なアドバイスを聞くことも出来ます。

Q 大学に入って成長したこと

普通の大学生活やアルバイトを通して、人に頼ることの大切さを知ったことです。大学はそれまでの学生生活とは異なり、自分で授業を組み立てたり、バイトやボランティアで社会人の方々と関わる機会も一気に増えるため、分からないことは1人で抱え込まずに「聞いてみる」ことがとても大切であることを学びました。

Q 高校生へのメッセージ

宇都宮大学共同教育学部は、教員を目指す方は勿論のこと、まだ将来の夢を考えている最中の皆さんにとっても、充実したカリキュラムによって様々な内容を学ぶことが出来る学部となっています。進路選択で悩んでいる方も多くいらっしゃると思いますが、ぜひ大学のイベントなどを近くで見て、後悔の無い選択をしてほしいと思います。心からお待ちしております。

ある日のキャンパスライフ

- 6:00 起床・朝食・身支度
- 7:20 通学
- 8:40 授業
- 12:00 昼食
- 12:40 授業
- 18:30 帰宅・夕食
- 19:00 運動
- 21:30 課題等・自由時間
- 24:30 就寝

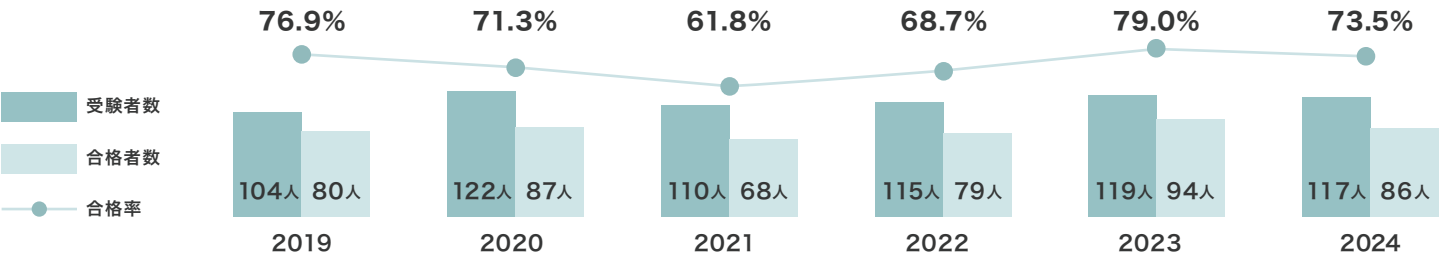


教員就職実績

共同教育学部4年生の教員採用試験の校種別合格状況(2024年度実施 他県・私学含む)

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合計
受験者	48	55	7	7	117
合格者	43	35	3	5	86
合格率	89.5%	63.6%	42.8%	73.5%	73.5%

共同教育学部4年生の教員採用試験の合格の推移(他県・私学含む)



共同教育学部で取得可能な免許一覧

課程	系	分野	小学校一種	中学校一種	高等学校一種	特別支援学校一種	幼稚園一種
学校教育教員養成課程	教育人間科学	教 育	◎	○教科は各自選択	○教科は各自選択	○	○
		教 育 心 理	◎	○教科は各自選択	○教科は各自選択	○	○
		特別支援教育	○	○教科は各自選択	○教科は各自選択	○(※)	○
	人文社会	国 語	◎	◎国語	○国語	○	○
		社 会	◎	◎社会	○地歴・公民	○	○
		英 語	◎	◎英語	○英語	○	○
	自然科学	数 学	◎	◎数学	◎数学	○	○
		理 科	◎	◎理科	◎理科	○	○
		技 術	◎	◎技術	○工業	○	○
	芸術・生活・健康	音 楽	◎	◎音楽	◎音楽	○	○
		美 術	◎	◎美術	○美術・工芸	○	○
		保 健 体 育	◎	◎保健体育	◎保健体育	○	○
		家 政	◎	◎家庭	○家庭	○	○

◎…卒業要件で取得が可能な免許種
○…卒業要件に加え、必要な科目(実習を含む)の単位を習得することで取得可能な免許種
※卒業要件で「視覚障害者、知的障害者、肢体不自由者または病弱者(身体虚弱者を含む)」の4領域の免許取得が可能です。
さらに必要な科目を修得することで、5領域全ての免許取得が可能になります。

令和8年度の入学者選抜について

系	分野	一般選抜(前期日程)					総合型選抜A(一般)					学校推薦型選抜	
		共通テスト	個別学力検査等				講義レポート作成 ※1	小論文	基礎能力試験	面接	グループディスカッション実技	面接	小論文
教育人間科学	教 育	○	×	○	○	×	×	×	×	○	※3	○	○
	教 育 心 理						○	×	×	○	×		
	特別支援教育						○	×	×	○	×		
人文社会	国 語	○	×	○	○	×	○	×	×	○	×		
	社 会						○	×	×	○	×		
	英 語						○	○	×	○	×		
自然科学	数 学	○	×	○	○	×	×	○	○	○	×		
	理 科						○	×	×	○※2	×		
	技 術						○	×	×	○	×		
芸術・生活・健康	音 楽	○	×	○	×	○	×	×	×	○	※4		
	美 術				×	○	×	×	×	○	※4		
	保 健 体 育				×	○	○	×	×	○※2	×		
	家 政				○	×	×	×	×	○※2	×		

入学者選抜についての詳細は、令和8年度 入学者選抜要項(2025.7月公表)にて確認してください。
※1 教育に関する今日的課題についての講義動画を視聴し、講義内容の要点と与えられた課題に関するレポートを作成する。
※2 個人面接の時間内でプレゼンテーションも行う。 ※3 グループディスカッションを行う ※4 実技試験を行う